

さいき 市議会だより

No. **83**

令和7年11月

題字は佐伯鶴城高校書道部の
作品です。

9月定例会は9月2日から9月25日までの24日間の会期で開催されました。



10月12日 ツール・ド・佐伯 2025
当日1,000人を超える参加者を迎え開催されました。

- ★ 市議会は、受付の名簿に氏名等を記入するだけで傍聴できます。お気軽にお越しください。
- ★ 市議会に関する情報は佐伯市のホームページから閲覧できます。

佐伯市議会

検索



9月定例会の概要

こんなことを**審議**しました

9月2日から9月25日までの24日間で開催され、予算議案9件、予算外議案15件、諮問5件、専決処分の報告1件及び議員提出議案1件が提出されました。

議員提出議案（佐伯市副市長定数条例の一部改正について）を除き、原案のとおり可決・異議がない旨答申・承認しました。

補正額 5億3,553万円

（令和7年度一般会計予算総額 447億7,620万円）

一般会計補正予算の主な事業

コミュニティバス運行事業

1,131万円

葛港～大入島間の一部民間航路の廃止に伴い、大入島北循環線にコミュニティバス路線を新たに追加します。



▲佐伯市コミュニティバス



▲大入島線 路線図

子育て施設の機能向上事業 **新規**

1,000万円

指定寄附金の受領に伴い、保育所及び放課後児童クラブ等の備品を購入します。

予防接種事業

9,477万円

10月から実施する新型コロナワクチン予防接種及び、带状疱疹ワクチン予防接種の定期接種を行います。

佐伯市立図書館寄附金事業 **新規**

549万円

株式会社三浦造船所から指定寄附金を受領したことに伴い、佐伯図書館の机及び椅子等の備品を購入します。

また、寄附金の一部を基金に積立てし、翌年度以降の図書の購入に活用します。



▲現在の三浦造船佐伯図書館 2階 学習室

公共事業発残土処理場新設事業

1,950万円



▲臼杵～津久見IC間4車線化工事の様子

東九州自動車道建設発残土のうち、約8万m³を企業誘致用地であるヘリポート跡地に盛土します。

※この事業については、予算特別委員会において議員から減額の修正案が提出されましたが、賛成少数で否決され原案のとおり可決されました。



▲ヘリポート跡地

議員提出議案

否決

市政運営の効率化及び財政負担の軽減を図るなどの理由から、佐伯市副市長定数条例の一部を改正し、副市長1人制としようとするもの。

反対討論

副市長定数に対し、各派代表者会議及び総務常任委員会でも意見は一致せず、何人が適当なのか結論は出なかった。執行部からは副市長2人が適当であるとの答弁があった。まずは、副市長定数は何人が適当なのかを議論するべき。

反対討論

財政健全化は重要だが、副市長1人体制では複雑な市政課題に対応できず、市民サービス低下のリスクがある。これまでの2人体制の経験を活かし、市政停滞を招かぬよう慎重な判断を求める。

反対討論

執行部自体が1人体制に反対しており、佐伯市は、面積も広く人口も多く、地域の実情も様々であるので、複数の人材で協議し決定していくほうが市民の要求実現、事業の執行には適している。

8月臨時会

生活応援おこめ券配布事業 (物価高騰対策)

物価高騰の影響を受けている市民の経済的負担の軽減を図るため、お米などの購入に利用できる「おこめ券」を全世帯に配布します。

この財源としては、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を計上したほか、財政調整基金繰入金により財源調整を行います。

- ① 18歳以下のものが属する世帯 1世帯あたり10枚 (4400円分)
- ② その他の全世帯 1世帯あたり5枚 (2200円分)

※事前の申込・申請等の手続きは不要

補正額 1億834万円

10月上旬から
順次配布を開始

世帯数33,000世帯
① 4,500世帯
② 28,500世帯



全国共通おこめ券

反対討論

- 趣旨は理解するが、
- ① 子どもの数に関わらず一律配布で公平性を欠く
 - ② 効果検証が不十分で「配って終わり」となる恐れ
 - ③ 地域経済への波及が限定的で地元支援に直結しない
 - ④ 財政調整基金を安易に取り崩す
- という4つの問題がある。
- 議会は行政の追認ではなく、財源の適切活用を精査すべきであり、この事業は実効性と持続性に欠けるため地域循環型の支援制度の検討を求める。

賛成討論

物価高騰対策として内容は必ずしも合理的とは言えないが、困窮する市民を前に否決するのは得策でなく、支援を必要とする人々を見捨てることになる。

市民生活を守る観点から賛成を表明し、今回の議論を契機に、今後はより困難を抱える市民に寄り添う支援が実現し、佐伯市がより生活者に近い施策を展開していくことを期待する。

採決の結果、
原案のとおり

可決

しました

【議員の表決態度の公表】

※賛否が分かれた議案等について掲載しています。
※議長（塩月健治）は、通常の過半数議決には表決権がありません。

件名		議決結果	賛反 成対 (○)(●)	一志会							佐伯を 元気にする会				さいき会			彗星会		公明党		無会派									
				梶川善寛	河原勝也	大崎栄治	塩月将登	染和陽	河野和史	廣津留龍二	西條隆洋	三浦房代	本上清三	井上松平	富野達也	池澤益彦	本杉貴志	吉良栄三	後藤勇人	脇坂豊元	佐藤政文	高司寿子	森川健治	塩月健治							
8月臨時会	令和7年度佐伯市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	17: 4	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
9月定例会	佐伯市副市長定数条例の一部改正について	否決	3 :18	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	議長	
	令和7年度佐伯市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	19: 2	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	

総務常任委員会

予算外議案6件はすべて可決すべきものと決す

消防団車両6台と救急車1台の購入経年劣化による更新を行います。



購入車両	契約方法	契約金額 (消費税込)	契約の相手方
小型動力ポンプ付積載車 普通車4台・軽自動車2台	一般 競争入札	[合計] 5,165万円	新日本消防設備(株) 大分市住吉町2-6-34
高規格救急自動車1台	指名 競争入札	4,257万円	日産プリンス大分販売(株) 大分市二又町3-3-1

建設経済常任委員会

予算外議案8件、専決処分の報告1件すべて可決・承認すべきものと決す

コミュニティバス大入島線2を新設

令和7年9月末をもって民間航路の一部が廃止されることに伴い、代替手段として新たに大入島線2を設置し、貨客混載による少量貨物の有償運送に係る規定の整備を行うものです。

直川地域コミュニティセンター 仁田原分館を廃止へ

大分県が水害対策を目的として進めている久留須川河川改修工事の施工に伴い、佐伯市直川地域コミュニティセンター仁田原分館の一部が工事施工範囲になることから、分館を廃止します。

教育民生常任委員会

予算外議案1件は可決すべきものと決す

佐伯市税条例の一部改正

地方税法の一部改正により、個人市民税における特定親族特別控除の創設に伴う改正を行うほか、加熱式たばこに係る市たばこ税の課税標準の特例規定を新設するものです。

特別委員会を設置

企業誘致に関し、議会として調査・研究すべく企業誘致調査特別委員会を設置することとなりました。

調査項目

- ・企業誘致について
- ・立地環境の整備について
- ・支援制度について

池澤益彦 西條隆洋 塩月将登 河原勝也



脇坂 豊

三浦 渉
(委員長)

梶川善寛
(副委員長)

吉良栄三



一般質問

一般質問 9月9、10、11、12日

※一般質問の掲載について

一般質問の記事は、議員の責任において、本人が質問・答弁の原稿を作成しています。その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載しています。



質問者	質問の要旨
井上 清三	・歳入確保について
吉良 栄三	・地域産業の育成と活性化について ・枠配分予算編成について
三浦 渉	・企業誘致について ・東九州新幹線について ・南海トラフ地震に備えた対策について
池澤 益彦	・新たなフェリー航路開設など、海上交通の活用について
塩月 将登	・朝食堂について
染矢 和陽	・佐伯市交通安全計画について ・聴覚障がい者へ配慮したまちづくりについて ・郷土の伝統文化の継承について
高司 政文	・小・中学校等の長期休暇時の給食の提供について ・小・中学校体育館のエアコン設置について ・コミュニティバスの利用促進策について ・上水道未普及地域の水源地等の施設整備について
大野 達也	・戦争遺跡の保存活用について ・使用料の見直しについて
梶川 善寛	・子育て支援について ・健康生活向上への取組について ・事業の見直しについて
佐藤 元	・大分県産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業費補助金について ・建設発生土処理場新設事業について ・各地域における要望等の進捗状況について
本田 房代	・市役所の組織体制について ・ペット同行避難への行政の対応について
富松 万平	・佐伯中央病院アリーナの空調設備について ・佐伯城山の活用・保存について ・人口減少下における小中学校の今後の在り方について
西條 隆洋	・佐伯市の財政に対する市の認識について ・児童クラブの在り方について
河野 和史	・防災・減災対策の充実について ・民生委員の成り手不足について
河原 勝也	・地域資源を生かしたまちづくりについて ・地元産品の流通促進について ・主権者教育に関する取組について
森川 寿子	・「やさしい日本語」について ・市政情報の発信について
脇坂 豊	・戦後80年、佐伯市の取組について ・文学・映画・スポーツで佐伯を活性化させることについて
後藤 勇人	・SDGs未来都市について ・孤立可能性集落について ・母子健康DX化について

※各議員の一般質問は
2次元コードからご
覧になれます。



ふるさと納税額100億 円の取り組みについて

井上 清三



問

ふるさと納税は、自分の故郷や興味ある市町村へ納税、すなわち寄附金という形で応援し、そのお礼として返礼品がある。この返礼品は、本市でも、3〜4億円の地場産業振興に影響がある。ふるさと納税を企業感覚で「商い」と捉え、これまでの固定概念を捨て、利用者ニーズに応え、100億円の「ふるさと納税」獲得が可能となり、地場産業振興等に50〜60億円の効果が期待できる新たな戦略を図り、自主財源確保をめざすべきである。6年度のふるさと納税上位の状況は、全国1位の宝塚市は256億円、北海道白糠町は211億円、別海町173億円、九州では都城市が176億円、宮崎市132億円となっているが、本市は、約9億8千万円である。白糠町は、人口6900人、世帯数3900戸の、本市の10分の1程の小さな町で、全国2位の寄附受入額211億円で、返礼品も特化したものでなく驚きとともに「やれば出来る」を実証されている。この数値を見て考えを問う。

答

全国的に上位の寄附獲得金額の数字と比較すると、寄附額は本市にとってまだまだ少ないと感じる。寄附金額が上位と比べると低いので、大変申し訳なく思っている。職員も、努力が足りない部分もあるが、絶えず努力をして寄附金額を上げる取り組みを行っている。



財政規律の保持と 市民ニーズに応える 予算編成を！

吉良 栄三



問

令和2年度からの「枠配分方式」による予算編成について、その成果と課題は。

答

本市の財政状況は収支不均衡により、財政調整用基金を取り崩しての財政運営を余儀なくされている。枠配分方式については、限られた一般財源を有効に活用するため、各部署の主体性による事業の集中と選択を図り、市民ニーズに合った必要な事業の構築を目的に導入している。成果としては、5年間で約16億3300万円の一般財源を抑制し、財政調整用基金残高は目標額を30億円上回る約100億3000万円となった。課題は各部署の創意工夫による主体的な事業の選択と集中及び、スクラップ・アンド・ビルドによる事業の見直しが進まなかった。

問

「枠配分方式」により、地区要望や施設の修繕等に予算が回っていないのではないのか。予算編成の見直しについて、今後の方針や考えはあるのか。

答

抜本的な事業の見直しと、新たな政策課題や急激な物価高騰などの諸課題があり、令和8年度当初予算編成では、令和元年度まで実施していた積み上げ方式を見直しの一環として採用する予定である。真に必要な事業に優先的に財源を配分し、限られた財源を最大限有効に活用することをめざす。



企業誘致について

三浦 渉



問

佐伯市は20年前から、企業誘致は市にとって喫緊の課題であると言ってきたが、これまでどのような誘致をしたのか。主な誘致先は。

答

市町村合併以降、令和6年度までの20年間で企業誘致は34社である。主な誘致企業は発電業のイーレックス株式会社、コールセンター業のアップセルテクノロジーズ株式会社、語学学校の京都民際日本語学校、農業の株式会社サニープレイスファーム、木材加工業の王子与志本製材株式会社などである。

問

企業誘致先をどのようにして探してきたのか。今後はどのように計画を立てているのか。

答

誘致活動については、地元出身者のネットワークや進出企業からの紹介、大分県によるセミナーや商談会でお会いした企業等への訪問と、歴代市長のトップセールスなどで企業誘致を図ってきた。今後は、これまでの誘致活動を継続しながら、私が自ら先頭に立ち、佐伯市のセールスマンとして、全力で企業誘致に取り組んでいく。また、市議会議員の皆様にも、積極的な御協力をお願いする。



新たなフェリー航路開設 など、海上交通の活用

池澤 益彦



問

佐伯市は航空交通や陸上交通で地理的に不便な位置にあるが、海上交通には強みがある。佐伯宿毛フェリーは運休して7年となった。市として再開への取り組みを問う。

答

再開へ向け働きかけを行っているが、航路の利便性や道路事情などの理由から再開の目途が立っていない。

問

過去に宿毛向け以外に、八幡浜向け航路があったが廃止となった。その理由を問う。

答

八幡浜と距離的に近い臼杵港との競合関係から、利用客数が伸び悩んだことが主な理由と考える。

問

トラック運転手の働き方改革である2024年問題や、熊本のTSMC進出に伴い物流需要の増加が想定される。佐伯に近い「宇和島」向け「航路新設」について市場性をどう考えるか。

答

宇和島航路は、運送効率や両市の経済力から、合理性と市場性があると考ええる。

問

地場企業振興や企業誘致の観点から海上交通の活用についての取り組みを問う。

答

新たな航路の可能性について、検証しつつ取り組んでいく考えである。



朝食堂について

塩月 将登



問

朝食堂への参加を通して生活困窮家庭や悩みを抱える児童の早期発見が期待できると考えるが、市の認識を問う。

答

朝食堂を行なっている学校では、毎週行われる朝食堂の様子を見たり、運営している方と子どもたちの表情や状態について情報交換をしたりすることによって、見守り機能を果たすことが期待できる。子どもたちの小さな変化やSOSのサインを共有し、その背景にある問題を発見する意識を持つことが重要であると考ええる。

問

朝食堂が子どもの居場所として果たす役割を市はどのように評価しているか。

答

朝食堂は、家庭環境や経済状況に関わらず、全ての子どもが安心して食事をとれる場所である。特に、一人で食事をする孤食を防ぐ効果があり、子どもたちには精神的な安定を得ることができる居場所であると考ええる。また、提供者への感謝の気持ちを表わすことのできる場でもあり、子どもたちの居場所づくりのみならず、心を醸成する場としても評価できるものと考ええる。



市民に親しまれる 地域の踊りを地域 コミュニティで

染矢 和陽



問

市内には古くから受け継がれてきた「佐伯音頭」や「佐伯小唄」などそれぞれの地域での伝統文化がある。未来に繋げるため、これらを子どもたちに伝える取り組みや支援・普及活動をしているのか。

答

盆踊りは、先祖の霊を迎え、供養するという伝統行事であり、本市では「佐伯音頭」「佐伯小唄」「堅田踊り」など、地域ごとに多様な踊りや踊り唄が継承されている。これらは、地域の歴史や風習と深く結びついた、世代を超えた人と人との絆や連携を象徴する、かけがえのない文化財である。

一方で、近年は少子高齢化の影響などにより、地域行事への参加者が減少し、伝統文化の担い手不足が課題となっている。また、地域で行われている保存・普及活動としては、それぞれの活動保存会が学校に赴くなど、子どもたちに指導を行い伝統文化の継承に取り組んでいる。具体的には、地域の踊りや唄、神楽などが挙げられ、市はその活動に対して補助金等の支援を行っている。今後、地域や学校と連携し、子どもたちが伝統文化に触れ、親しむことができる機会を提供していく。



▲ 稲垣地区の盆踊りの様子



小・中学校体育館に エアコンをつけて

高司 政文



問 小・中学校体育館のエアコン設置については、平成30年の一般質問で指定避難所の環境整備という防災面から、本年3月の予算特別委員会では、国の動向を紹介し設置を促した。「防災局と教育委員会とで検討する」との答弁であったが、その後の検討状況及びエアコン設置について問う。

答 指定避難所となっている小・中学校体育館のエアコン設置については、近年の猛暑から児童生徒を守るとともに、避難所機能の強化を図るため、体育館のエアコン整備の具体的な計画作成に取り組み、令和11年度までに指定避難所となっている体育館から設置する計画とした。

今後は事業費や整備に関するスケジュールについて、総合計画実施計画等による調整に基づき進めていく。



▲ 学校体育館の空調設備



公共施設を どう維持するか

大野 達也



問 物価や賃金上昇している。市内の様々な公共施設の管理運営費にも影響が生じている。公共施設は施設利用者の「使用料」と、市民の「市税」で賄われている。経費が増す一方で、使用料の多くは据え置きされたままで、市民の市税からの負担割合が大きくなっている。

答 受益者である施設利用者が相応の負担をすること「使用料の引き上げ」によって、市税負担の公平性を確保し、施設の管理運営費の増大を抑えるべきでは。

問 施設の使用料は、担当する各課において見直すこととしている。市としての考え方や方針、基準等が整理されていない。令和9年度までに方針を整理する。

答 市民の負担をできる限り軽減するため、観光・文化施設・ホール等の使用料には「市外料金」の導入を考えられないか。

問 観光・文化施設等との整合性を図り、調査研究し、導入可否を含め検討する。



健康生活向上への 取り組みの推進

梶川 善寛



問 65歳から始まる带状疱疹ワクチンの定期予防接種に加えて、50歳からのワクチン接種への助成を行うつもりはないか。

答 带状疱疹ワクチンは、発症のピークが70代であることやワクチン有効性の持続期間などを考慮し、65歳からの定期接種となっている。このことから、現時点では50歳からの接種を行う予定はないが、市内医療機関から意見を伺い、国や他市町村の動向を注視していく。

問 胃がんの99%がピロリ菌感染によるものといったデータもあり、中高生での除菌で胃がん効果がより確実になると言われている。早期発見・早期治療を目的として中学生を対象に健康診断時の尿検査でピロリ菌検査を実施する考えはないか。

答 全国の自治体でも、中学生を対象としたピロリ菌検査を実施している事例が徐々に増加している。その多くが尿検査による簡便な方法で実施され、これらの取り組みは、生徒の健康増進と将来の医療費抑制の両面から注目すべき施策であると考ええる。一方で、中学校段階での健康診断でのピロリ菌検査の導入には解決すべき課題も多岐にわたる。すでに実施している自治体の検査方法や費用対効果、受け入れ状況等について調査・研究を進めていく。



建設発生土処理場 新設事業について問う

佐藤 元



問 この事業は何のために行ったのか。

答 建設発生土の有効活用を図る中で、建設発生土受入候補地を検討するものである。

問 なぜ残土処理場の新設に至ったのか。議会の承認を得て行った事業なのか。

答 高速道4車線化で、多くの建設発生土が見込まれ、事業実施者の「資源の有効な利用の促進に関する法律」に基づき、建設発生土受入候補地について調査・検討したものであり、予算特別委員会において示している。

問 この事業に、令和3年度から令和6年度までに約8000万使用されているが結果と有益性はどうかであったか。

答 予定地にする場所の同意が得られず事業化を断念した。発生土の有効活用として佐伯ヘリポート跡の用地造成に向けた取り組みを進めているところである。

問 ヘリポートは調査したのになぜはつきりしないのか。

答 答弁なし。

※詳細は佐伯市議会のホームページの議会映像配信、YouTubeにてご覧下さい。



市長直轄チーム 「市長公室」の設置を！

本田 房代



問 行政課題が複雑化・多様化する中で市長が市全体を見渡し、各部署の取り組みを横断的に調整しながら的確に判断、対応していくことが重要になっていると感じる。市長の考えや方針を市内に伝え、市民の声も的確に受け止めながら、市政全体の推進役となる市長直轄のチームまたは、市長公室の設置の考えを伺う。また、市全体を的確に把握し、迅速な判断・対応を行うための体制づくりについて市長の考えを問う。

答 現状の組織体制は、これまでも状況の変化に応じた改編を行ってきたが、より分かりやすい部署の編成に取り組んでいきたい。

問 私の政治姿勢である「対決より対話、競争より協力」を市内の体制づくりにも活かし、幅広く市民の声を聴くこと、各分野が連携・協力できる仕組みを構築することについて、さらに強化していきたい。

問 令和8年度に市長の政策推進や市民サービス向上のための組織改編を行うか問う。

答 「組織体制検討会」を中心に検討している。10月から12月にかけて、市内の合意形成を図りながら改編案を作成し、最終的に市長が決定する。組織のスリム化や業務と職員の集約化、政策推進や市民サービス向上の視点をもって、進めていきたい。



佐伯中央病院アリーナへ 空調設備の早期設置を！

富松 万平



問 佐伯中央病院アリーナについて、防災対策としての認識について問う。

答 夏期における避難生活において、冷房設備が整っていないと避難者が熱中症その他の健康上の問題を引き起こす可能性が高くなる。災害関連死対策の一つとして空調設備設置の必要性は高いと認識している。

問 市民の健康・安全とスポーツツーリズムについて問う。

答 市民が安全にスポーツ活動を行える環境の整備は、本市にとって重要な責務である。近年、温暖化が進み、異常気象や自然災害が年々深刻なものとなっている。空調設備の問題は、夏季の大会における快適さや参加者の健康に大きな影響を及ぼすため、重要な課題と認識しており、今後は事業費や整備に関するスケジュールについて、総合計画実施計画等による調整に基づき進めていく。

問 具体的に令和何年度に予算化するのか。

答 本年度から体育館のLED照明化、遊具改修、陸上競技場の更新に順次取り組む。空調設備は令和10年度に予算化したい。



佐伯市は財政難なのか？ 使い道を考え直そう！

西條 隆洋



問 基金残高を計画的に維持し、持続可能な財政運営をどのように進めるか。

答 人口減少や少子高齢化に伴う税収減を踏まえ、収納対策の強化やふるさと納税、企業版ふるさと納税の活用、使用料・手数料の見直しで歳入拡大を図る。同時に、事業の選択と集中、公共施設の集約や長寿命化、行政評価による見直し、さらにDX推進による業務効率化で歳出抑制を進め、基金残高を計画的に維持する。

問 地方債発行の基準は。

答 臨時財政対策債を除いた全会計残高を令和11年度末までに326億円以下とする目標を掲げ、国県補助金の活用や投資的経費の平準化により適正管理する。

問 人件費と組織運営は。

答 正規・任用職員を含めた総額を管理し、業務集約や標準化、DX推進で効率化を図る。

問 経常収支比率の高止まりをどう認識するか。

答 令和6年度は94・9%と依然高水準。直ちに逼迫ではないが100%超は避け、歳入確保と歳出抑制で健全財政を維持する。



常設の危機管理センターの設置を！

河野 和史



問 南海トラフ地震図上訓練において、対策本部の会場設営に要した時間は。

答 会場設営に要した時間は約3時間であった。

問 災害対策本部として、大会議室に対策班を集約するメリットは何か。分散化することでの都合な事はあるのか。

答 災害対策本部の機能を大会議室に集約することにより、効率的な活動及び統制の維持等が可能になる。大規模停電が発生した場合、非常用電源を使用するため、災害対策本部を一中所に集約することは効率的である。分散化した場合には、情報伝達の遅延、指揮系統の混乱及び状況把握が困難になる。

問 常設の危機管理センターの必要性をどのように考えているか。

答 迅速な初動体制の確立や情報の一元化と共有、専門的な機能の集約が可能となる。災害発生時に迅速で適切な対応が図られるとともに、平時においても、定期的な訓練や研修及び防災意識を高めるための学習施設として活用できるものと考えている。危機管理センターの常設には多くのメリットがあるものと認識している。



地元産品のさらなる 流通促進を！！

河原 勝也



問 より稼ぐ産業にしていくなめには、地産地消の推進と共に、市内県内国内のみならず、世界に向けて発信していく必要がある。まず、地産地消の具体的な施策はどういったものがあるのかを問う。

答 佐伯市が主催するオーガニックフェスタ等、各種イベントでの地元産品のPRを行っている。また農林水産物の学校給食への利用など、地産地消に取り組んでいる。

問 海外輸出を促進するための具体的な取り組みはどのようなことが挙げられるか。

答 昨年度から、大分県や佐伯市輸出入協同組合と連携して台湾での佐伯フェアを実施し、さいき産品のPRを行った。

問 海外輸出している主な産品と件数、今後の課題は何か。

答 現在3件で、若武者ハマチ、大入島オイスター、日本酒を台湾に輸出している。課題としては、品物が届くための日数がかかるので、冷凍技術の高度化が必要である。また、さらにブランド化に力を入れて付加価値を高めることが重要と考える。



もっと伝わる・わかり
やすい行政、つながる
情報発信に

森川 寿子



問 「やさしい日本語」の活用や普及について、市の取り組みを問う。

答 文化審議会が提言した「公用文作成の考え方」では、外国人にも伝わりやすい「やさしい日本語」の活用が示されており、本市の職員が公用文を作成する際には大いに役立つものと認識しており、積極的に活用したいと考えている。「やさしい日本語」の普及啓発を行うためには、まずは市職員が「やさしい日本語」についてよく理解をし、業務に取り入れて実践する事が最優先事項であると捉え、今年度、市職員向けの「やさしい日本語」講座の開催を予定している。

問 今あるサイトを「やさしい日本語」化できるサービスである「伝えるウェブ」を導入してはどうか。

答 現在、公式ホームページを「やさしい日本語」にAI自動変換するサービスの導入に向けた準備を進めている。導入により、外国人留学生など多様な市民が言語の壁を乗り越え、必要な情報を届けることができると考えている。



佐伯市に映画祭を！

脇坂 豊



問 市民協働で取り組む「ツキイチ映画」を充実させ、年に一度、映画ウィークを実施し、古典から傑作まで幅広いラインナップを揃えることで市民が映画に触れる機会が増え文化発展につながり、さらに日本最古の映画祭「湯布院映画祭」と連携し市内でもプログラムを組むことで素晴らしい映画体験ができるだけでなく、経済効果も十分に見込めると思うが見解を問う。

答 「ツキイチ映画」は、市民ボランティアである「桜ホールサポーター」の皆様が企画・運営に携わり取り組んできた。映画上映にとどまらず佐伯市出身の俳優を招いたトークイベントなど、サポーターの発案によるさまざまな企画が実施されてきた。これまでの実績から、「映画ウィーク」や交流会の企画は、市民の皆様が映画に触れていただく機会を増やすだけでなく、映画を通じた新たなコミュニティの形成や、地域の活性化にもつながるものと期待できる。今後サポーターと共に、御提案いただいた内容を踏まえ、市民に親しまれている映画を活用した自主事業の企画・運営に努めていく。



SDGs 未来都市
さいきへ！

後藤 勇人



問 SDGs 未来都市とは、SDGs の理念に沿い、経済、社会、環境の側面をつなぐ統合的な取り組みによる相乗効果、新しい価値の創出を通じて、持続可能な開発に取り組み自治体のことである。中長期を見通した持続可能なまちづくりを推進していくために選定に向け取り組み考えはないか。

答 第2次佐伯市総合計画基本構想において、将来にわたり持続可能なまちを創るための方針として、「佐伯版SDGs」を推進している。また、私の市政の基本的方向性である「誰もが『つながる』まちづくり」においても、国や県、他の市町村などの行政主体のほか、企業や団体など多様な方々との連携・協働をより一層進めていくことが不可欠であることから、この「佐伯版SDGs」の取り組みを個人や地域、会社などが日々の生活や活動においても取り組んでいけるよう、先月から新たに「佐伯版SDGsアクションプランズワン！」の取り組みを掲げ、市民の皆様にも「小さな一歩から」の願いをしている。今後、第3次佐伯市総合計画の策定作業と並行して、「SDGs 未来都市」が目標とする2030年の佐伯市のあるべき姿についても検討し、選定のメリットを最大限活用できると判断した場合は、応募の手続きを進めていく。

第15回 議会報告会

『あなたの **声** をお聴かせください』

どの会場でも参加できますのでご都合に合わせてご参加ください。



1班



2班



3班

次 第

- 1 開 会
- 2 代表者あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 報告事項
(委員会等の活動報告)
- 5 質疑応答
- 6 意見交換会
- 7 閉 会

日 時	会 場	コミュニティ (地区)	担当班
11/8 土	午前 9 時30分～11時00分	鶴見地域コミュニティセンター	鶴 見 3 班
	午後 1 時00分～ 2 時30分	上堅田地域コミュニティセンター	上堅田 3 班
	午後 3 時30分～ 5 時00分	八幡地域コミュニティセンター	八 幡 3 班
11/10 月	午後 7 時00分～ 8 時30分	鶴岡地区公民館	鶴 岡 1 班
11/11 火	午後 7 時00分～ 8 時30分	佐伯地区公民館	佐 伯 1 班
11/12 水	午後 7 時00分～ 8 時30分	下堅田地域コミュニティセンター	下堅田 1 班
11/14 金	午前10時00分～11時30分	直川地域コミュニティセンター	直 川 2 班
	午後 2 時00分～ 3 時30分	弥生地域コミュニティセンター	弥 生 2 班
11/15 土	午前10時00分～11時30分	渡町台地域コミュニティセンター	渡町台 2 班
	午後 2 時00分～ 3 時30分	蒲江地域コミュニティセンター河内分館	蒲 江 2 班

【班編成】

班	班 長	班 員 (議席順)							
1 班	大野 達也	佐藤 元	高司 政文	塩月 将登	染矢 和陽	河野 和史	富松 万平		
2 班	西條 隆洋	三浦 涉	大崎 栄治	脇坂 豊	廣津留龍二	池澤 益彦	梶川 善寛		
3 班	井上 清三	河原 勝也	本田 房代	後藤 勇人	本杉 貴志	吉良 栄三	森川 寿子		

- ・議会報告会は、2年かけてコミュニティセンター及び地区公民館を基礎とした全19地域で開催します。
- ・班編成は抽選、開催場所は班協議により決定しています。 ・議長は、特定の班に所属せず、いずれかの会場に参加します。

事業の推進に向けて 地元県議と意見交換

建設経済常任委員会では8月29日に、地元選出県議会議員と意見交換会を開催しました。意見交換を通じて、大分県土木建築部要望項目及び、佐伯土木事務所管内の諸事業について、現在の進捗状況等を共有しました。また道路・橋りょうなどのインフラ整備の充実や、防災・減災対策の重要性についても意見が交わされました。

委員会としても整備事業等のさらなる推進に向けて、地元県議との連携による有意義な活動になるよう、積極的に取り組んでいきたいと思っています。



▲意見交換会の様子



▲感謝状の贈呈

役員退任のため吉良栄三議員に感謝状が贈呈されました。



▲受講の様子

と き 10月7日(火)
ところ レンブラントホテル大分

講 師 時事通信社 解説委員
山田 恵資 氏

「混迷続く政治の現状と行方」

講 師 明治大学 教授
飯田 泰之 氏

「岐路に立つ日本経済 ～政策・地域・ビジネスに求められるものは～」

大分県市議会議長会 議員研修会

6～8月 主な議長公務日誌

- 6月6日(金) 自衛隊協力会総会
- 6月13日(金) 令和7年度番匠川漁協通常総会
- 6月15日(日) 令和7年度佐伯市美術展表彰式
- 6月29日(日) 関東佐伯会
- 6月30日(月) ナイターソフトボール大会開会式
- 7月15日(火) 九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会総会・決起大会
- 7月16日(水) 団体モニター委嘱式
- 7月17日(木) 第42回日豊経済圏開発促進協議会総会
- 7月21日(月) 海の日記念式典
- 8月1日(金) 大分・宮崎県境地域開発促進協議会理事会
- 8月22日(金) 第68回大分県乾椎茸品評会県南地区団体優勝祝賀会
- 8月29日(金) 第78回県民スポーツ大会佐伯市選手団結団式



▲大分・宮崎県境地域開発促進協議会理事会



詳しい活動状況は
市議会HPで公開中

表紙の題字の作成者 佐伯鶴城高校書道部



佐伯鶴城高校書道部は、現在1年生7人、2年生7人の計14人で、学年の垣根を越え、切磋琢磨しつつも仲良く活動しています。

毎年行われる県内、県外の展覧会のための作品作りや、市内各地のイベントでのパフォーマンス、催し物の横断幕の作成などを行っています。各種行事で見かけた折には応援よろしくお願いいたします。



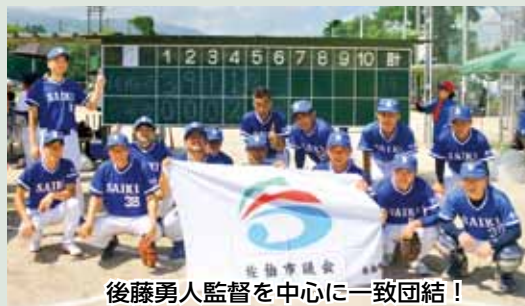
議員陸上

100m個人 4位
河原勝也
記録 14.59秒



4×100mリレー 6位 記録 1分01.06秒 監督 染矢和陽
走者 1走 廣津留龍二、2走 梶川善寛、3走 大野達也、4走 河野和史

議員ソフトボール準優勝！



後藤勇人監督を中心に一致団結！

1回戦 佐伯市 14 - 3 竹田市
2回戦 佐伯市 18 - 5 杵築市
準決勝 佐伯市 20 - 2 玖珠郡
決勝 佐伯市 2 - 14 国東市・東国東郡

第78回大分県民スポーツ大会が行われました。

大分県民スポーツ大会

次の議会 11月26日(水)～12月17日(水)まで開催予定です。
定例会は (一般質問は12月2日～5日の4日間の予定です。)

本会議等の録画映像などは市議会のHPで公開しています。

下記 SNS で情報発信中！



Instagram
(インスタグラム)
2次元コード



X (エックス)
※旧ツイッター
2次元コード



佐伯市議会公式
YouTube チャンネル
2次元コード

